

## スマートエネルギー社会へ！ かながわの挑戦

### Kanagawa's Efforts for Promoting Smart Energy Society

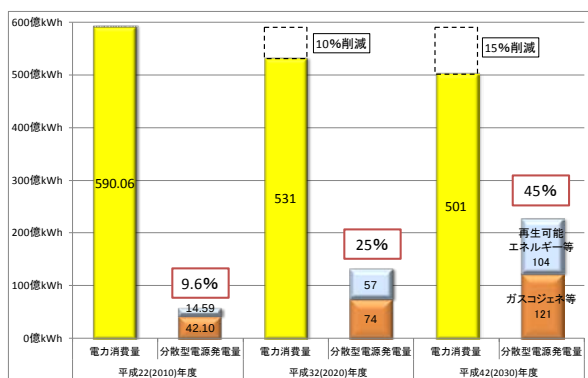
松浦 治美（神奈川県産業労働局エネルギー部）

Harumi Matsuura (Kanagawa Prefectural Government)

E-mail: harumim.jffy@pref.kanagawa.jp

神奈川県では、① 原子力に過度に依存しない、② 環境に配慮する、③ 地産地消を推進する、の3つの原則のもと、地域において自立的なエネルギーの需給調整を図る分散型エネルギーシステムを構築し、災害に強く環境負荷の小さい地域づくりを推進するとともに、エネルギーの安定供給と関連産業の振興を図り、県経済の発展と県民生活の安定につなげるために、2014年（平成26年）4月に「かながわスマートエネルギー計画」を策定した。

この計画では、数値目標として、県内の年間電力消費量は、2010年度（平成22年度）比で、2020年度（平成32年度）は10%の削減、2030年度（平成42年度）は15%の削減を、県内の年間電力消費量に対する分散型電源による発電量の割合は、2020年度（平成32年度）は25%、2030年度（平成42年度）は45%とすることを目指している。



神奈川県内の電力消費量と分散型電源発電量（目標）

また、地域において分散型エネルギーシステムを構築し、スマートコミュニティを形成するため、5つの基本政策に沿って、様々な施策を

総合的かつ計画的に推進している。

#### 5つの基本政策

|   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1 | 再生可能エネルギー等の導入加速化            |
| 2 | 安定した分散型電源の導入拡大              |
| 3 | 情報通信技術（ICT）を活用した省エネ・節電の取組促進 |
| 4 | 地域の特性を活かしたスマートコミュニティの形成     |
| 5 | エネルギー産業の育成と振興               |

2014年度（平成26年度）は、次のような主要施策に取り組んできた。

- ・「屋根貸し」ビジネスモデルの普及
- ・薄膜太陽電池の普及
- ・ガスコージェネレーションの導入促進
- ・水素エネルギーの導入促進
- ・EMSを活用したサービスの普及促進
- ・エネルギー関連産業への参入促進 など



道路法面に設置した薄膜太陽電池

かながわスマートエネルギー計画に掲げた目標の達成や主要施策の推進に向けて、国や市町村、事業者、関係団体、大学等と連携して、今後も着実に取組を進めていく。